

Crescendo

M E D I K I T A R T S C E N T E R くれっしえんど

vol.133
2018 12月



けんげき 25フェス

たくさんのご来場・ご参加
ありがとうございました。

目次

バレエ×音楽の融合
華麗なるスターたちの饗宴

『たのかんさあレンジャー』
たのかんさあって？

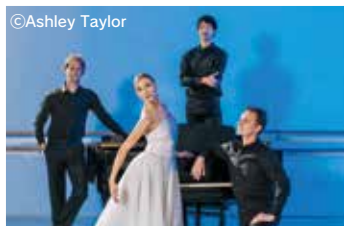
異ジャンルの三銃士
古川展生さんインタビュー

若手演奏家によるガラ・コンサート

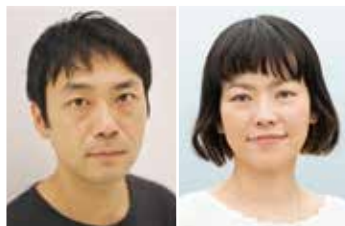


 **メディキット 県民文化センター**
MEDIKIT ARTS CENTER

©Ashley Taylor



Manuel Legris **Stars in Blue** BALLET & MUSIC



『新 かぼちゃといもがら物語』#3
『たのかんさあレンジャー』



KOBUDO 一古武道一



Miyazakiアウトリーチアーティスト・エキシビジョン #4



© Darian Volkova

© Ashley Taylor

© Ashley Taylor

Manuel Legris

Stars in Blue

BALLET & MUSIC

世界最高峰のダンサーとミュージシャンによる豪華な共演をお楽しみいただける“Stars in Blue”。今回は、この公演を企画された愛知県芸術劇場の唐津絵理さんにお話を伺いました。

📍 **Stars in Blue はどんな公演ですか？**

📍 **出演者について**

Stars in Blue は、世界一流のダンサーによるバレエと日本を代表する音楽家の演奏を同時に楽しんでいただくことを目指して企画した、コンサートスタイルのバレエ公演です。バレエ作品はすべて生演奏で上演され、さらに音楽家だけによる演奏も加わった、とても豪華なプログラムになっています。

人々は太古の昔から踊るときにはリズムやメロディを奏で、音楽が聴こえてくれば踊ってきました。元々ひとつであった踊りと音楽は、様式が確立されていくにつれて、別々の道を進むことになったのです。だから現代ではダンス公演と音楽コンサートの両方の公演に足を運ぶ人はとても少ない。でもコンサート形式のダンス公演を作ることができれば、ジャンルを超えて、ダンスも音楽も今以上に楽しんだり、興味をもってもらえるのではないかと考えました。そこで愛知県芸術劇場では3年前から、この「ダンス・コンサート」シリーズを始めることにしたのです。今回日本ツアーを企画する中で、初めて私の出身地でもある九州の劇場で上演できることになって、本当に喜んでいます。

今回はダンサーのコーディネートをパリ・オペラ座バレエ団の頂点で活躍してきた伝説のダンサーのマニユエル・ルグリさんをお願いしました。パリ・オペラ座バレエ団は世界初のバレエ団。そのトップで活躍していたルグリさんが、今芸術監督を務めているウィーン国立バレエ団は、あの著名なウィーン国立歌劇場管弦楽団の演奏でバレエを上演しています。常に音楽を身近に意識し、ダンスと音楽の融合を体現している舞踊家なのです。その彼がこの企画のために選んだダンサーは、やはり音楽性の高い3名のダンサー、ロシアの名門ポリショイ・バレエのオルガ・スミルノワさんとセシヨン・チュージンさん、そしてウィーン国立バレエ団でトップダンサーを務める木本全優さんです。

バレエはフランスで育ち、ロシアで完成したと言われる舞台芸術。チャイコフスキーの音楽で有名な『白鳥の湖』などのバレエ作品も19世紀末のロシアで誕生しました。スミルノワさんはそのロシアで育ち、今やポリショイ・バレエのトップへと上り詰めた世界に誇る若きプリンセス。次世代を担うバレエのスタースミルノワさんとベテランのルグリさんは世代こそ違いますが、共にバレエ一途で全人生を踊りに注ぎ込む生まれつきのアーティストです。今回の最大の見どころは、二人の初共演となりますが、本公演のために気鋭振付家のパトリック・ド・バナさんが日本とフランスを繋ぐ「絹」を題材にした新作を用意してくれました。



唐津絵理さん

(愛知県芸術劇場シニアプロデューサー)

熊本市出身。お茶の水女子大学院人文科学研究科修了。舞台活動を経て、日本初の舞踊学芸員として愛知芸術文化センターに勤務。2014年より現職。2010年～16年あいとりエンターレパフォーミングアーツ部門キュレーター。

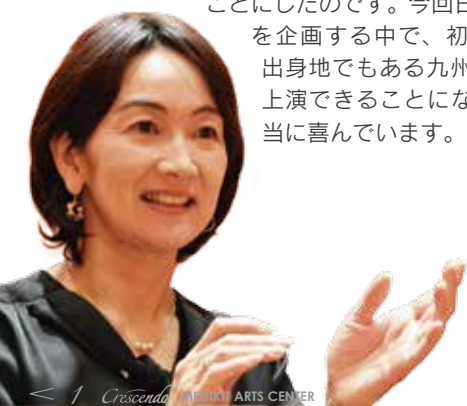
またロシア出身のチュージンさんと日本の木本さんによる男性同士のデュエットも世界初演となります。

さらにスミルノワさんは、ロシアの一流バレエの代名詞ともいえる『瀕死の白鳥』を、木本さんは『白鳥の湖』の一場面を踊り、ロシアバレエの真髄も味わっていただけたと思います。

📍 **最後に**

今最も話題で人気のバレエダンサーたちが、古典バレエの名作から本公演のための新作まで、国内外で活躍中の音楽家・三浦文彰さんと田村響さんの演奏と共に、最高の踊りと音楽を繰り広げる、まさに夢のような組み合わせが実現して、私もワクワクしています。

素晴らしいキャストを得て、バレエと音楽のエッセンスを十分に堪能できる本当に貴重な機会です。世界でも例のないこの舞台を、是非、多くの方に体験していただきたいと思っています。





© Hidemi Seto

演奏曲

ニコロ・バガニーニ
「ネル・コル・ピウ変奏曲」
【演奏】三浦文彰（ヴァイオリン）

モーリス・ラヴェル
「ツィガヌ」
【演奏】三浦文彰（ヴァイオリン）、
田村響（ピアノ）

フレデリック・ショパン
「ノクターン 第20番（遺作）」、
「華麗なる大円舞曲」
【演奏】田村響（ピアノ）

※出演者・内容は2018年11月30日現在のものです。
※やむを得ない事情により、内容・出演者が変更
になる場合があります。

ダンス作品

『シルク（仮題）』（新作 世界初演）
【原作】アレクサンドロ・バリッコ著『絹（シルク）』より
【振付】パトリック・ド・バナ
【音楽】クリストフ・ヴィリバルト・グルック、
フィリップ・グラス
【出演】マニュエル・ルグリ、オルガ・スミルノワ
三浦文彰（ヴァイオリン）、田村響（ピアノ）

『鏡の中の鏡（仮題）』（世界初演）
【振付】パトリック・ド・バナ
【音楽】アルヴォ・ペルト
【出演】セミヨン・チュージン、木本全優
三浦文彰（ヴァイオリン）、田村響（ピアノ）

『Moment』
【振付】ナタリア・ホレツナ
【音楽】ヨハン・セバスチャン・バッハ、
フェルツォ・ブゾーニ
【出演】マニュエル・ルグリ、滝澤志野（ピアノ）

『タイスの瞑想曲』『マ・バヴロフ』より
【振付】ローラン・プティ
【音楽】ジュール・マスネ
【出演】オルガ・スミルノワ、セミヨン・チュージン
三浦文彰（ヴァイオリン）、田村響（ピアノ）

『潮死の白鳥』
【振付】ミハイル・フォーキン
【音楽】カミーユ・サン＝サーンス
【出演】オルガ・スミルノワ
三浦文彰（ヴァイオリン）、田村響（ピアノ）

『白鳥の湖』より第1幕のヴァリエーション
【振付】ルドルフ・ヌレエフ
【音楽】ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー
【出演】木本全優
三浦文彰（ヴァイオリン）、田村響（ピアノ）

宮崎にゆかりのある、この2人も出演！



©Yuji Hori

三浦文彰（ヴァイオリン）

バレエ界のスター達との共演をとて嬉しく思います。

私は以前もこのプロジェクトに参加させていただきましたが、素晴らしいパフォーマンスを目の前に演奏するのはとても新鮮で刺激的な体験となりました。世界トップの魅力的なメンバーとの踊りと音楽の親密なステージを、私にとっての第二のホームである宮崎の皆さまにお届けできることを心から楽しみにしております。



©武藤章

田村響（ピアノ）

一流ダンサーの皆さまとの共演を今からとても楽しみにしております。何度も共演しているヴァイオリニスト三浦さんとの音楽と、華麗なバレエが融合される舞台を、皆さまにも是非堪能していただきたいと思います。宮崎県は昔、音楽祭の公開レッスンで滞在し、音楽の大切な事を学んだ思い出があります。その場所でまた貴重な経験をさせていただける喜びを感じています！会場で皆さまをお待ちしております。ご期待ください！

公演情報

Manuel Legris
Stars in Blue BALLET & MUSIC

2019年3月14日（木） 開場18:15 開演19:00
演劇ホール

【出演】マニュエル・ルグリ（ウィーン国立バレエ団 芸術監督）、
オルガ・スミルノワ（ポリショイ・バレエ プリンシパル）、
セミヨン・チュージン（ポリショイ・バレエ プリンシパル）、
木本全優（ウィーン国立バレエ団 プリンシパル）、三浦文彰（ヴァイオリン）、田村響（ピアノ）
滝澤志野（ピアノ/ウィーン国立バレエ団 専属ピアニスト）

【料金】全席指定 S席8,000円[会員7,200円] A席6,000円[会員5,400円]
B席4,000円[会員3,600円] U25割 全席種半額
親子割6,500円 ※5歳～中学生一般、A席のみ

※本公演は5歳からご入場いただけます。

巻頭コラム
Column

てげてげオーケストラ

11月18日、アイザックスターンホールに歩入った私は愕然。これで演奏会になるのだろうか…？覚悟はしていましたが、想像を超える風景がステージの上にありました。普段着の人たちが座る場所さえないような押し合いへし合い、わけのわからない楽器の音に交じって大声のやりとりや叫び声。持っている楽器はピアノやリコーダーといった日常の楽器から、中学・高校の生徒らしき若者の管楽器、中には形容のできない道具を抱えた年配の人たち。最前列の小学生や幼児はほとんど収拾のつかない騒音行動を続けていました。

今年、芸術劇場は創立25年を迎えました。その記念にこれまでやったことのない演奏会を…と職員が知恵を出し合って実現した「てげてげオーケストラ」。誰でも参加できます。楽器は音の出るものなら何でもOKです。という呼びかけに、300人を超える素人さんたちが応募してきたのです。彼らをまとめ上げ指揮するのが大友良英さん。NHK朝ドラ「あまちゃん」の音楽で知られ、来年1月からの大河ドラマの作曲と音楽を担当する手練れのミュージシャンです。あちこち走り回って即席楽団員とやりとりしている大友さんに「大丈夫ですか、何とかできますか？」と尋ねました。

「大丈夫です！これまで他の土地で何回もうまくいってますから」と大友さんは豪語。飄々とした味わいあるドラマの作家・演出家の宮藤官九郎さんとコンビを組む大友さんは、ざっくばらんで温かい人柄がオーラになっているようで、ひっきりなしに子どもたちがまわりついてきます。「でもね、佐藤さん、東京でも大阪でもせいぜい集まったのは100人でして、今回は300人を超えて…果たして何とかできますかね…!？」と客席に戻る私に気になるひと言。

大友さんの腕の一振りで見えた音はこれまで聴いたことのない音でした。楽曲のようでもあり、騒音のようでもあり…しかしそうした独特のサウンドが指揮者の動き一つではじけては消えていく連続は、300人の人たちの集中と熱を感じるものでした。かつてなじんだ「あまちゃん」のテーマ音楽も懐かしさを感じさせてくれました。舞台上で演奏している参加者の喜びも感じました。終了後「大友さん、また来てね」と声をかけると「次は500人ですかね」と大友さんは汗だくの笑顔でした。

公益財団法人宮崎県立芸術劇場 理事長 佐藤寿美

宮崎県立芸術劇場プロデュース

「新 かぼちゃといもがら物語」#3

作 戌井昭人 / 演出 立山ひろみ

宮崎を舞台に、“今を生きる”人々を描くシリーズ「新 かぼちゃといもがら物語」。
#1「板子乗降臨」、#2「神舞の庭」に続く第3弾は、脚本に戌井昭人、演出に立
山ひろみ（宮崎県立芸術劇場演劇ディレクター）を迎え、町おこしをがんばりたい、
4人の男たちのなんだかヘンテコな日常を描きます。

“田の神さあ”という豊作を願う素朴な像が有名な“かにの市”には、かつては栄えていたが、現在は寂れてしまった奈良町温泉という場所がある。あるとき、スナック〈ブーブーキング〉で町おこしを考えた4人の男たちは、ご当地キャラクター「たのかんさあレンジャー」を思いつく。しかし、各地に余興に行き、試行錯誤するものの、なにかと上手くはいかないのだった。さらに、旦那から逃げてきた女がやってきたりと、ひと騒動もあって……。

たのかんさあレンジャー

町おこしに励む4人の男たちが扮するのは、「たのかんさあレンジャー」という謎のご当地キャラクター。このキャラクター、“たのかんさあ（田の神さあ）”がモチーフになっているのですが、知っているようでいて意外と奥が深いのが“田の神さあ”。舞台『たのかんさあレンジャー』をより楽しんでご覧いただけるよう、上演に先がけて“田の神さあ”について少しだけご紹介します。

「田の神さあ」とは

冬は山の神となり、春は里において田を守り豊作をもたらす「田の神さあ」。18世紀の初め頃、霧島の噴火や天災に苦しんだ農民たちが、「田の神」を石に刻み稲作の豊作を祈願したことから、「田の神さあ」の風習は生まれました。「田の神信仰」は全国的にありますが、田の神の“石像”は薩摩藩のみの文化といわれ、宮崎県内では都城市、小林市、えびの市などの諸県地方を中心に広がり、宮崎市内にも点在しています。

←県内最古といわれる、小林市真方新田場の田の神さあ。

↓宮崎市の跡江地区（県道17号線沿い）にある田の神さあ。

農民型

田の神像の代表ともいわれる型。シキと呼ばれる被り物をかぶり、右手にメシゲ（しゃもじ）、左手にお椀や杵を持っています。



←赤・白・黒の縞模様が目立つ田の神さあ。右手にメシゲ、左手に椀を持っています。

神官型

衣冠束帯やそれに近い姿で、手にシャクを持つものが多い。宮崎県で始まったとされています。

ほかにも、石そのものを神様とみなす「自然石」の田の神さあや、穏やかな表情が特徴的な「地藏型」の田の神さあもあります。

約150体の「田の神さあ」が残るえびの市で、2番目に古い田の神。→

田の神さあの近くから見た風景。広大な田んぼが広がります。↓





こんな風習も…「オットイ田の神」

昔は、田の神を盗む（オットイ）風習もあったのだそう！

豊作の続く地方の田の神像を置くと、米がよくとれるようになるといわれたため、不作の村や、まだ田の神のいない新しい田には、よその田の神像を盗んできて置きました。しかし、“盗む”といっても実際は“借りて”きたもの。3年以上置くと不作になるので、盗んだ集落では3年経つと様々なお礼とともに、にぎやかに田の神像を送り出し、盗まれた村で田の神の帰りを待っていた人々とともに盛大な酒盛りをしたのだとか。

大正時代に“おとって”持ってきたという田の神さあ。↓



参考：えびの市観光協会ホームページ <http://ebino-kankou.com/tanokansa/>
「田の神さあ MAP」(えびの市歴史民俗資料館 作成)

本公演を手がけるのは、「鉄割アルバトロスケット」を主宰し、小説家としても活躍する**戌井昭人**（脚本）と、当劇場演劇ディレクターの**立山ひろみ**（演出）。演出をつとめる立山から、公演に向けてコメントが届きました。



立山ひろみ

Profile

1979年、宮崎県宮崎市佐土原町出身。劇作家、演出家。宮崎県立芸術劇場演劇ディレクター。

パフォーマンステートユニット「ニグリノード」主宰。大学卒業後、劇団黒テントに所属し、演出デビュー。同劇団を退団後、自身のユニットを立ち上げ、言葉に偏らず、身体表現、音楽等、舞台芸術の要素一つ一つをセルフと等価値に扱い、表現の可能性を模索。他カンパニーの依頼で、劇作、演出をすること多数。主な作品にオペラシアターこんやく座オペラ『おぐりとなるて〜説経節「小栗判官照手姫」より〜』、劇団うりんこ『アリス』、テフ・パベットシアター・ひとみ『河の童一かわのわつば』など。埼玉県富士見市の劇場、キラリ☆ふじみでは、4年間市民による、キラリ☆かけき団のオペラ演出を担当。その他いろいろな地域でワークショップなども行う。

「新 かぼちゃといもがら物語」

宮崎の女性と男性をあらわす方言「ひゅうがかぼちゃ」と「いもがらぼくと」。しっかり者の女と頼りなくお人好しな男。宮崎を舞台に“今を生きる”人々の営みから、日本の今を見つめた新しい物語を紡いでいきます。

#1『板子乗降臨』

2017年2月15日(水)～19日(日) イベントホール
【作】土田英生 (MONO)
【演出】永山智行 (劇団こぶく劇場)
【出演】渡部豪太、熊川ふみ、実広健士、日高啓介、河内哲二郎、あべゆう、酒瀬川真世、大迫紗佑里



#2『神舞の庭』

2018年2月28日(水)～3月4日(日) イベントホール
【作】長田育恵
【演出】永山智行 (劇団こぶく劇場)
【出演】田中美央、内田淳子、実広健士、松本哲也、古賀今日子、森岡光、片淵高史、成合朱美、河内哲二郎、原田千賀子



公演情報

「新 かぼちゃといもがら物語」 #3

『たのかんさあレンジャー』

2019年2月27日(水)～3月3日(日) 全5ステージ

<平日>開場18:30 開演19:00 <土日>開場13:30 開演14:00
イベントホール

※3月2日(土)は終演後にアフタートークあり

【作】戌井昭人 【演出】立山ひろみ
【出演】矢柴俊博、桑原裕子、実広健士、大江泰子、宇井晴雄、森川松洋、キムユス、片山敦郎、はまもとゆうか
【料金】全席自由・日時指定 一般3,500円 [会員3,100円] U25割1,500円
ペア割6,000円 [会員5,400円] ※前売りのみ
【特別協賛】株式会社児湯食鳥

古川展生
(チェロ)

妹尾 武
(ピアノ)

藤原道山
(尺八)

KOBUDO —古武道—

～尺八・チェロ・ピアノコンサート～

クラシック、ポップス、純邦楽と異なるジャンルのトップアーティスト3人によるKOBUDO—古武道—。今年で結成11年目を迎える彼らが、宮崎が生んだ美声のカウンターテナー歌手・米良美一をゲストに迎え、宮崎でしか聴けないスペシャルなコンサートをお届けします。

今回、メンバーの一人であり、宮崎国際音楽祭に第1回からご出演いただいている、チェロの古川展生さんにお話を伺いました。



米良美一 (カウンターテナー)



古川展生さん(チェロ)

桐朋学園大学卒業後、ハンガリーのリスト音楽院に留学。1998年帰国とともに、東京都交響楽団首席チェロ奏者に就任、現在に至る。ソリストとしても、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の首席奏者を中心とした室内オーケストラ「トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーン」やレニングラード国立歌劇場管弦楽団との全国ツアーなどを含め、国内外のオーケストラ、著名指揮者との共演も多数。2003年第2回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。ソロ活動においては、映画「おくりびと」ではテーマ曲のソロ演奏を担当するなど、人気、実力ともに各方面から最も注目を集めているチェリストである。これまでに10枚のソロアルバムと2枚のベストコレクションをリリース。http://nobuofurukawa.com

ユニット名の「古武道」の由来について

「古武道」というと古武術をしているグループかと思われがちですが、3人の名前からそれぞれ1文字ずつとなっています。古川展生の「古」、妹尾武の「武」、藤原道山の「道」の3つの漢字を組み合わせ、古武道と名付けています。結成当初はなんだか恥ずかしくて、慣れない響きに戸惑っていました。しかし、昨年で結成10年を迎え、いつの間にか私たちの中でも古武道という名前が馴染んできたなと実感しています。古武道というユニットを、できるだけたくさんの方に知っていただきたいなと思っています。

結成のきっかけは？

それぞれが知り合いだったんです。私は、妹尾さんと大学の先輩後輩。藤原さんとはレコード会社が元々同じで、同じ時期にデビューしました。妹尾さんと藤原さんは作曲家の千住明さんのレコーディングで初めて知り合ったと聞いています。そういった中で、それぞれが知り合いという状態で、妹尾さんがコンサートに私と藤原さんをゲストに招いてくれ、アンコールで最後に1曲だけ3人一緒に演奏することになったことがきっかけです。それ以来、意気投合してコンサートのゲストとして呼び合ったり、1～2年後には古武道と名前はついていなくても3人でコンサートをすることが続きました。そんな中で「3人でグループを結成しよう!」という話ができて、今年11年目を迎えました。

異なるジャンルの3人が集まった古武道。どんな曲を演奏されるんですか？

私たち古武道はいろいろなジャンルの音楽を演奏しています。私は普段クラシック音楽を中心に、藤原さんは尺八ですので邦楽の世界の第一人者です。妹尾さんは私と同じ大学でクラシックを学んだ先輩後輩の間柄ですが、ポップスの音楽を中心に楽曲提供や作曲家として活動しており、編曲、演奏もしています。3人それぞれが、異なるジャンルの音楽を持ち寄って、古武道のユニットならではのオリジナリティのある音楽を目指して取り組んでいます。基本的

にはオリジナルの曲が多く、テレビのテーマ音楽を担当したことが何度もあり、皆さんの馴染みのあるものも数曲あると思います。そのオリジナルの音楽と共に、私が普段演奏しているクラシックをはじめ、邦楽や映画音楽など既存の楽曲を、古武道なりにアレンジしてお届けしています。

最後にお客様へメッセージ

宮崎でのコンサートを、メンバーみんなが楽しみにしていますが、中でも私は第二の故郷とも思えるくらい大好きな宮崎市で、古武道としてコンサートができることを嬉しく思っています。そして今回は、宮崎にゆかりのあるカウンターテナーの米良美一さんを、ゲストにお迎えします。米良さんと古武道で共演するのは、今回が初めてです。米良さんといえば皆さんもよくご存じの有名なカウンターテナー歌手であり、私たちも彼の作品をみんなで演奏することを楽しみにしておりますし、米良さんとのコラボレーションを楽しみにしています。米良さんにもたくさん登場していただいて盛り上がるコンサートにしたいと思っています。ぜひ皆さまのお越しを心よりお待ちしております。こうして宮崎でまた演奏できることを本当に今から楽しみにしております。ぜひよろしくお願いします。

公演情報

KOBUDO —古武道—

～尺八・チェロ・ピアノコンサート～

2019年2月11日(月・祝) 開場14:30 開演15:00
演劇ホール

【出演】<古武道>古川展生(チェロ) 妹尾 武(ピアノ) 藤原道山(尺八)

ゲスト: 米良美一(カウンターテナー)

【料金】全席指定 一般4,000円 [会員3,600円] U25割2,000円
ベア割7,000円 [会員6,300円] ※前売りのみ

Miyazaki

アウトリーチアーティスト・エキシビション #4

音楽に触れる機会の少ない方々に音楽をお届けすることを目的として、平成23年度からスタートしたアウトリーチ事業「ミュージック・シェアリング」。その第4期登録アーティストとして平成29年度から2年間にわたり県内各地に音楽を届けてきた、都城市出身の壽山智美さん（フルート）が、2月をもって卒業します。エキシビションはその門出を祝う、集大成となるコンサートです。そこで、今回のコンサートについて、壽山さんにお話を伺いました。

アウトリーチの様子



どんなコンサート？

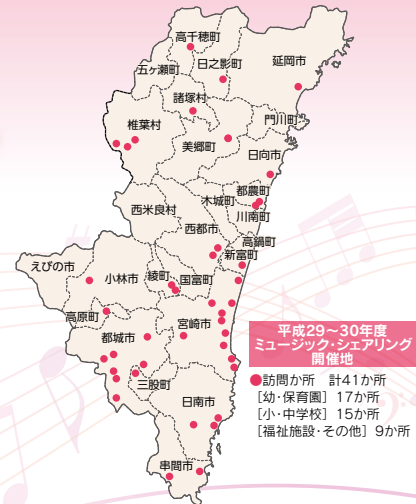
一般的なコンサートとは少し違った内容でお届けします。前半は実際にアウトリーチで行っているプログラムを、ピアノ編とフルート編でお送りします。曲を演奏するだけでなく、私たちが普段どのような工夫をしてアウトリーチを行っているか、見ていただける内容です。後半は、私たちが自ら選んだ集大成となる曲を披露します。OB生として今年度も活動されていた高場さんの演奏や、同じフルーティストである熊谷さんとのデュオもあります。

特別企画も？

2年間の活動を写真で振り返るパネル展を、宮崎県立芸術劇場と三股町立文化会館で開催します。また、実際のアウトリーチで行っているプログラムを少しだけお楽しみいただける、20分程度のミニコンサートを三股町立文化会館と県電ホールで開催します。入場無料なので、皆さまぜひ遊びに来てください！

最後に意気込みをどうぞ！

この2年間、初めて訪れる市町村が多く、あらためて宮崎の魅力を感じることができました。アウトリーチ活動では、演奏だけではなく、フルートを身近に感じてもらうための体験コーナーや対話といった、普段のコンサートにはない貴重な経験をさせていただきました。毎回プログラムを考えるのが難しく、ギリギリまで悩むことが多かったのですが、演奏を聴いてくださる方々の温かい笑顔や演奏後にいただく感想が次に繋げる励みとなりました。この2年間の経験を活かして、エキシビションコンサートでは皆さまに楽しんでいただける演奏をお届けしたいと思います。



平成29～30年度
ミュージック・シェアリング
開催地
●訪問先所 計41か所
[幼・保育園] 17か所
[小・中学校] 15か所
[福祉施設・その他] 9か所



第4期登録アーティスト
壽山智美さん（フルート）

現在、2019年度の 開催団体(会場)を募集中！

応募対象は幼稚園、保育園、小学校、中学校、各種施設等です。2019～2020年度は、第5期登録アーティストが各地を訪れ、音楽をお届けします。申込期限は2019年1月25日（金）必着。詳しくは劇場HPまたは応募チラシをご覧ください。

公演情報

Miyazaki アウトリーチアーティスト・エキシビション#4

2019年2月16日（土） 開場14:30 開演15:00
アイザックスターンホール

【出演】 壽山智美（フルート） 高場涼子（ピアノ） 熊谷愛香（フルート） 野崎さやか（ピアノ伴奏）
桐原直子（お話し／音楽アウトリーチアドバイザー）
【料金】 全席自由 一般1,000円 [会員800円]

特別企画

ミニコンサート

三股町立文化会館
エントランス

2019年2月3日（日）11:40～12:00
【出演】 壽山智美（フルート） 野崎さやか（ピアノ）

県電ホール
（宮崎県企業局庁舎1階）

2019年1月23日（水）12:30～12:50
【出演】 壽山智美（フルート） 野崎さやか（ピアノ）
2019年2月6日（水）12:30～12:50
【出演】 高場涼子（ピアノ）

パネル展

「アウトリーチアーティスト2年間の軌跡」

メディキット
県民文化センター
1階エントランス

2019年1月16日（水）
2月13日（水）

三股町立文化会館
エントランス

2019年1月17日（木）
2月3日（日）
※3日（日）のみ午後12時まで

メディキット県民文化センター（宮崎県立芸術劇場）

自主事業公演チケット情報

2019年
1月13日(日)

開場13:30 開演14:00

アイザックスターンホール

オルガンとその仲間たちシリーズ2018

メサイア

出演：大塚直哉（企画・監修、指揮） 12名のソリスト オルガンとその仲間たちシリーズ合唱団 古楽器オーケストラ

全席指定 一般2,500円〔会員2,200円〕 U25割1,500円 親子割3,000円

チケット発売中

2月11日(月・祝)

開場14:30 開演15:00

演劇ホール

KOBUDO—古武道—

～尺八・チェロ・ピアノ コンサート～

出演：〈古武道〉 古川展生（チェロ） 妹尾武（ピアノ） 藤原道山（尺八）

ゲスト 米良美一（カウンターテナー）

全席指定 一般4,000円〔会員3,600円〕 ペア割7,000円〔会員6,300円〕 ※前売りのみ U25割2,000円

チケット発売中

詳細はP5

2月16日(土)

開場14:30 開演15:00

アイザックスターンホール

Miyazaki アウトリーチアーティスト・エキシビション #4

出演：壽山智美（フルート） 高場涼子（ピアノ） 熊谷愛香（フルート） 野崎さやか（ピアノ伴奏） 桐原直子（お話）

全席自由 一般1,000円〔会員800円〕

チケット発売中

詳細はP6

2月27日(水)～
3月3日(日)

＜平日＞

開場18:30 開演19:00

＜土日＞

開場13:30 開演14:00

イベントホール

「新 かばちやといもがら物語」#3

『たのかんさあレンジャー』

作：成井昭人

演出：立山ひろみ

出演：矢柴俊博、桑原裕子、実広健士、大江泰子、宇井晴雄、森川松洋、キムユス、片山敦郎、はまもとゆうか

全席自由・日時指定 一般3,500円〔会員3,100円〕 U25割1,500円 ペア割6,000円〔会員5,400円〕 ※前売りのみ

チケット発売中

詳細はP3～4

3月14日(木)

開場18:15 開演19:00

演劇ホール

Manuel Legris Stars in Blue BALLET & MUSIC

出演：マニエル・ルグリ（ウィーン国立バレエ団 芸術監督） オルガ・スミルノワ（ポリショイ・バレエ プリンシパル）
セミョーン・チュージン（ポリショイ・バレエ プリンシパル） 木本全優（ウィーン国立バレエ団 プリンシパル）
三浦文彰（ヴァイオリン） 田村響（ピアノ） 滝澤志野（ピアノ/ウィーン国立バレエ団 専属ピアニスト）

全席指定 S席8,000円〔会員7,200円〕 A席6,000円〔会員5,400円〕 B席4,000円〔会員3,600円〕
U25割 全席種半額 親子割（A席のみ） 6,500円※5歳～中学生＋一般

チケット発売中

詳細はP1～2

3月31日(日)

開場13:30 開演14:00

演劇ホール

'18みやざきの舞台芸術シリーズⅡ

音彩×魅惑 ～フルート・クラリネット・2台ハーブの5感で巡る癒しの旅～

出演：日高由美子（クラリネット・企画提案者） 戸高美穂（フルート） 柄本舞衣子（ハーブ） 津野田圭（ハーブ）

全席自由 一般3,000円 学割1,500円※小学生～大学生

チケット発売中

Attention（ご注意）

◎記載情報は変更になる場合があります。 ◎U25割は鑑賞時25歳以下が対象。その他の割引サービスの詳細は、劇場HPをご覧ください。
◎当日券が出る場合は、一般チケットのみ500円増になります。※一部公演除く
◎託児サービス（有料・事前申込要）がご利用いただけます。※一部公演除く

劇場の
HPはコチラ！



0歳のお子様から入場OK！ 4歳未満無料

公演情報
おんがくのおもちゃ箱シリーズPart.8
「寒さなんてふきとばせ！全員集合！」
チケット発売中
2月9日（土）開場10:30 開演11:00
アイザックスターンホール

【全席自由】 4歳未満無料 4歳以上500円
なかよしチケット700円（4歳以上2人1組、前売りのみ）



小さなお子様や
パパ・ママに大人気の
シリーズ！
毎回大好評のピアノ・ベース・
パーカッションのバンドに、
Part.8はフルートをゲストに迎
えて、童謡など親子そろって
楽しめるプログ
ラムをお届け
します♪



黒木奈津季
（ピアノ）



大西映光
（ベース）



衛藤和洋
（パーカッション）



熊谷愛香
（フルート）



伊豆諤子
（司会・進行）



前回の様子

お問合せ



宮崎県立芸術劇場
MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER

〒880-8557 宮崎市船塚3-210
http://www.miyazaki-ac.jp

TEL.0985-28-3208 FAX.0985-20-6670

facebook随時更新中！「フォロー」と「いいね！」お待ちしています。